

## 市長行動記録(令和2年度)

(令和2年4月13日)東日本大震災の津波で全壊し休局していた閉上郵便局が閉上公民館南側に、9年ぶりに営業再開しました。閉上の町に新しい施設がまた一つ仲間入りです。必要不可欠な「閉上郵便局」の開局です。山田市長は、再開を記念して歓迎の言葉を述べました。



(令和2年4月15日)名取市役所にて、ワークライフバランス推進事業所の表彰式が行われました。今回受賞された企業(団体)は、名取熊野堂病院と建設業の(株)ワタケンです。ワークライフバランスとは、仕事と生活の調和を図り、誰もが働きやすい仕組みを作ることです。このワークライフバランス推進事業の表彰は2016年度からおこなわれ、今回で10事業所となりました。





(令和2年4月23日) 宮城三菱自動車販売(株)と名取市は、災害時に非常用電源となる電動車両等の貸し出しに関して、「災害時等における電動車両(アウトランダーPHEV=プラグインハイブリット車)及び給電装置の貸与に関する協力協定書」を締結しました。この協定は、電力や燃料の供給が途絶えた際に避難所や市庁舎で機動力のある非常用電源として活用が期待されます。



令和2年4月24日(株)仙台ニコン様より名取市に、社員の手作りフェイスシールド100個を頂き、贈呈式が行われました。新型コロナウイルス対策として、名取市休日夜間急患センターや医療機関等で有効に活用させていただきます。



本市の応急仮設住宅(プレハブ)は、東日本大震災の被災者向けに宮城県により建てられたもので、平成 23 年 4 月 28 日に最初の箱塚桜応急仮設住宅が完成し、5 月 3 日に入居開始以来、計8団地(910 戸)が建設されました。供与を開始してから 9 年を経て、役割を終了しました。9 年間という長い時間がかかりましたが、被災された方の住まいの再建という意味では大きな節目であり、今後も心のケアなどソフト面での支援もしっかり取り組んでまいります。



(令和 2 年 4 月 28 日)(株)登米プラス様より名取市に、飛沫防止パネルを 20 枚寄贈頂き、贈呈式が行われました。新型コロナウイルス対策として、市役所窓口等で、活用させていただきます。



(令和 2 年 5 月 11 日)名取市愛島台で、操業している(株)ウッベル様よりフェイスシールド 300 個を頂き、贈呈式が行われました。新型コロナ対策・飛沫防止対策として、名取市休日夜間急患センターや医療機関等で有効に活用させていただきます。



名取市が行う健康づくりの取り組みや名取市民の健康増進のため、(株)大塚製薬との「健康増進に向けた包括的連携に関する協定」を締結しました。今回の協定締結が、市民の健康づくりや安全安心のまちづくりにつながることを願っております。



(令和 2 年 5 月 30 日)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために開館を延期していた名取市震災復興伝承館の開館及び完成記念式典が行われました。この施設は、東日本大震災の記憶や教訓を後世に伝承し、震災を風化させることなく、危機意識や防災意識を醸成する拠点施設として期待されています。



(令和 2 年 5 月 31 日)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために開館を延期していた名取市歴史民俗資料館の開館及び完成記念式典が行われました。この歴史民俗資料館は、東北最大の古墳である雷神山古墳や、本宮・新宮・那智の三社がそろそろ全国的にも珍しい名取熊野三社をはじめ、市内に数多く残された、歴史文化の保存や活用の拠点施設として期待されます。



(令和 2 年 6 月 13 日)震災の年から始まり、今回で 10 回目となる「ひまわりプロジェクト」の植樹祭が、かわまちてらす閣上で行われました。首都圏と被災地の人と人との絆をつなぐ素晴らしい取り組みに感謝します。



(令和2年6月23日)有限会社新エネルギーハウス様より、消毒用ハンドジェルを500本頂き、贈呈式が行われました。新型コロナウイルス対策として、名取市内の保育所・幼稚園・小中学校等の子供たちに活用させていただきます。



(令和2年6月24日)名取市役所にて、優良工事表彰式が行われました。今回受賞された企業は、グリーン企画建設(株)様、春山建設(株)名取支店様、(有)青木設備工業様、(株)ワタケン様です。この賞は、市内の建設関連企業が市発注の工事を施工するに当たり、管理や技術力の向上に対する意識を高め、工事の品質を確保することが目的で、今年度で10回目になります。



(令和2年7月1日)街づくり進められている 関上地区において、食品スーパーイトーチェーン様(柴田町)が運営する「イトーチェーンゆりあげ食彩館」が開業しました。ドラッグストア、百元ショップなども入り、地場の野菜や果物も販売します。また、店舗の一角をお借りし、市のPRコーナーも設けてあります。さらには、市内7ヶ所の障害福祉サービス事業所で作られた、木工品や陶芸品、野菜などを販売する「てて・マルシェ」も開設します。新たな関上のにぎわい拠点として、より一層期待されます。



(令和 2 年 7 月 20 日)名取市役所にて、名取市とアークランドサカモト株式会社様との「災害時応援協定締結式」が行われました。この協定は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、一時避難施設として、ホームセンタームサシ名取店の使用及び物資の提供に関する事項を定めるものです。





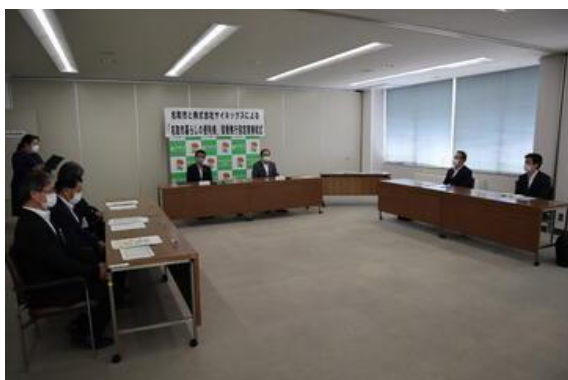


(令和2年7月22日)名取市役所にて、サッポロビールホールディングス(株)様より、「恵比寿麦酒祭り」の売上金の一部を名取市閉上地区の水産業復興のために、閉上わかめ養殖資材購入資金を宮城県漁業協同組合仙南支所(閉上)へ寄贈して頂きました。同社はこれまで仙南支所・閉上にフォークリフト2台を贈っています。



(令和2年8月5日)「名取市暮らしの便利帳」協働発行協定書締結式が行われました。本市では、官民協働での情報発信として平成9年から「便利帳」の発行を行ってきましたが、今回で4回目の改定・発行となります。今年度中に市民の皆様への配布を目指し準備を進めます。





(令和2年8月5日)名取市役所にて、「カナダ×名取市 ホストタウンフレーム切手」の贈呈式が行われました。本市は平成30年6月にカナダを相手国とする「復興ありがとうホストタウン」に登録され、カナダ国や選手団、関係者、市民との交流の事業を展開しておりますが、県南地域や東京で「カナダ×名取市 ホストタウンフレーム切手」の一般販売もされることは、本市の復興ありがとうホストタウン事業を推進していくうえで大きなPRになるものと期待しております。



(令和2年9月7日)名取市役所にて、明治安田生命「私の地元応援募金」贈呈式が行われました。この取組は、全国の支社等が選定した団体等に対し、明治安田生命グループの全従業員が、出身地等のゆかりのある地域の団体等に募金し、会社からの寄付を上乗せして支援するものです。名取市が今回頂きました。



(令和2年9月18日)名取市役所にて、「秋の交通安全市民総ぐるみ運動の出発式」が行われました。式では、山田市長と岩沼警察署長から交通安全母の会会長へ交通安全を呼びかけるメッセージの伝達式も行われました。交通安全運動の実施期間は、9月21日から30日までの10日間です。



(令和2年9月19日)名取市サイクルスポーツセンターの内覧会が行われました。名取市サイクルスポーツセンターの10月3日のグランドオープンに向け、準備を進めて参りました。名取市サイクルスポーツセンターの最大の特徴は、気軽に自転車に触れられ1週4kmのサイクリングロードやおもしろ自転車広場で、サイクリングを楽しむことができます。もう一つの特徴は、天然温泉を備えた宿泊施設「名取ゆりあげ温泉『輪りんの宿』」です。生まれ変わった名取市サイクルスポーツセンターを、是非ご利用ください。



(令和2年10月2日) 閑上地区から北釜地区(仙台空港)までを結ぶ第2次防御ラインが全線開通しました。第2次防御ライン市道広浦北釜線が開通しました。8月に開通した市道閑上南北線と合わせ、閑上地区から仙台空港周辺までの津波から沿岸地域を守るための堤防機能を備え、さらに交通アクセスの向上を兼ね備えており、復興名取のシンボルと成る嵩上げ道路が完成しました。



(令和2年10月3日) 復旧工事が進められてきた名取市サイクルスポーツセンター及び、名取ゆりあげ温泉「輪りんの宿」がグランドオープンしました。1周4kmの「サイクリングロード」や「おもしろ自転車広場」、レストランに加え、3x3コート、スケートボード場、フットサルコートのスポーツ施設を完備。宿泊施設「名取ゆりあげ温泉「輪りんの宿(りんりんのやど)」では、天然温泉の日帰り入浴も可能です。皆さまぜひお越しください。



(令和2年10月14日) 名取市役所にて、株式会社トーモク仙台工場様と災害時応援協定書調印式が行われました。この協定は、災害発生時において、株式会社トーモク仙台工場の有する段ボール製品(段ボールベット等)の供給及び物資の運搬をしていただくことに関し、締結するものであり、避難所の環境改善や感染症対策のための手段の一つとして活用が期待されます。

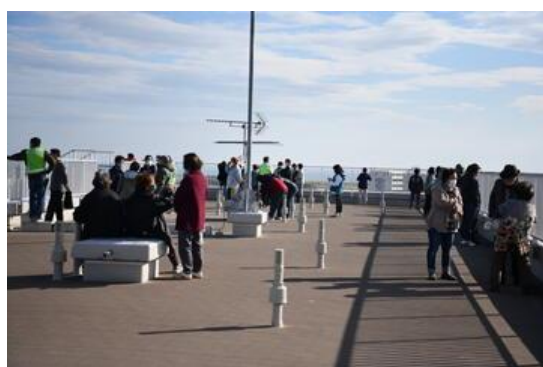


(令和 2 年 10 月 26 日)東北電力株式会社岩沼電力センター様および株式会社ユアテック仙台南営業所様より LED 街路灯 15 灯を寄贈いただき、名取市役所にて寄贈式が執り行われました。これは両社が「明るいまちづくりに役立ててほしい」と昭和 40 年から宮城県内の市町村へ街路灯の寄贈を行っているものです。これまでに名取市には 104 灯の街路灯を寄贈いただいており、今回で累計 119 灯目になります。寄贈された街路灯は県立がんセンター一周辺や高館熊野堂などの街路灯設置要望のある箇所を設置していただく予定です。



(令和 2 年 11 月 7 日)令和 2 年度名取市総合防災訓練を開催しました。東日本大震災により大きな被害が出たことを教訓に、住民等の避難方法や町内会などの活動の確認、自助・共助・公助による訓練を実施することにより、防災体制の確立と防災意識の高揚を図ることを目的とし実施いたしました。この訓練では、段ボールベッドの組立訓練を初めて実施しました。





(令和2年11月16日)(株)畑惣商店名取工場より、こどもたちのインフルエンザ対策などに役立てて欲しいと「坊ちゃん石鱈」480個を提供頂きました。提供された石鱈は、市内小中学校や保育所等へ配布されます。今回で畑惣商店からの提供は12回目となります。



(令和2年11月25日)日本郵便(株)宮城県南部地区連絡会様より、名取市の魅力が詰まったオリジナルフレーム切手「2020市民が選ぶ フレーム切手」で残したい『なとり100選』を贈呈いただきました。贈呈式には、同社宮城県南部地区連絡会名取部会長の関大手町郵便局長のほか、市内の3郵便局の局長様方が列席され、郵便局のキャラクター「ぽすくまくん」と名取市マスコットキャラクターの「カーナくん」も式に花を添えました。このフレーム切手は名取市内含め県南4市9町の郵便局61局と仙台中央郵便局で販売中です。



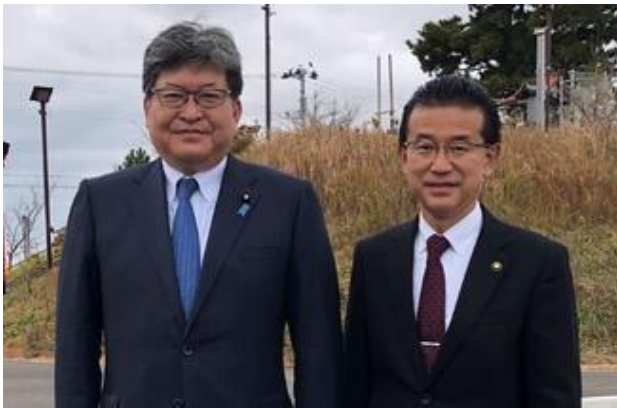
(令和2年11月28日)名取市との協働提案事業として、市民団体「和ごころコミュニケーションズ」が企画した、地元特産の魅力を伝えるイベント「大発見！名取のせりの見どころ探し隊」が市内小学生の親子を対象に行われ、親子20組約60人が参加しました。市内のせり農家でせりの収穫や選別などの作業を見学し説明を受け、子供たちは目を輝かせていました。



(令和2年12月10日)「せり鍋ゆうパック」取り扱いのセレモニーが行われました。「名取のせりを全国に！」の想いから宮城県南部地区連絡会名取市内郵便局様により全国初となる「せり鍋ゆうパック」取り扱いのセレモニーが関上郵便局様で行われました。400年の歴史のある名取産せりをぜひご堪能ください。



(令和2年12月10日)萩生田光一文部科学大臣が閑上にお越しになりました。閑上小中学校と震災メモリアル公園を視察されました。防災教育の必要性和GIGAスクールへの強い意欲を示されました。



(令和2年12月15日)北釜地区進出企業と立地協定を結びました。北釜地区産業エリアに企業進出第1号なります。仙建工業(株)様と立地協定を締結しました。東北の空の玄関口である仙台空港周辺の開発が始まり、交流人口の拡大と地域産業の発展が期待されます。





(令和3年1月10日)名取市文化会館において、名取市成人式が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温消毒を徹底し、中学校区に分けた二部制で行いました。また、都合により参加できない新成人者向けにYouTubeによるライブ配信を行いました。今年の名取市を担う新成人は786人です。おめでとうございます。



(令和3年1月10日)名取市民体育館駐車場で名取市消防出初め式が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観閲行進や消防団による水防訓練、放水訓練を行わず規模を縮小しての開催となりました。市民の生命財産を守る消防関係者の皆様の弛まぬ精進とご努力に感謝と御礼を申し上げます。



(令和3年1月19日)ベガルタ仙台トップチームの選手・スタッフ約50名が関上地区を訪問しました。震災慰霊碑にて佐々木代表取締役社長・手倉森監督・関口選手が献花した後、日和山と震災復興伝承館を訪れ、震災当時の映像や話を見聞し、新シーズンに向けて被災地の「希望の光」となると強く決意していました。

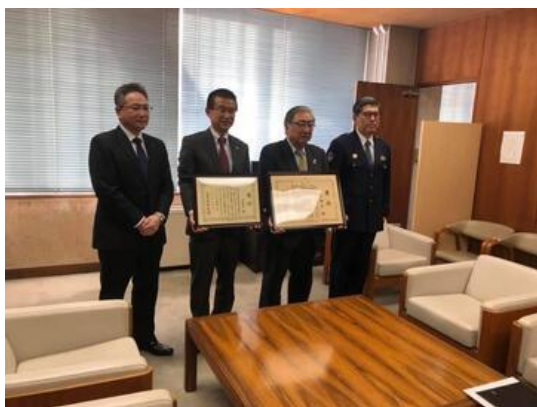




(令和3年1月25日)宮城県南の4市9町で構成する「第30回 宮城県南サミット」が岩沼市の「岩沼リゾート」を会場に開催されました。宮城県知事の村井嘉浩知事にも出席していただき県南地域の要望を伝えました。



(令和3年3月2日)交通死亡事故ゼロ1年達成し、宮城県知事と宮城県警本部長から「褒状」をいただきました。岩沼警察署や交通安全に関わるご尽力また市民一人ひとりの心がけのたまものです。



(令和3年3月7日)関上復興笹かまぼこお披露目会が行われました。ゆりあげ港朝市にあるメイプル館の寄贈など、支援を受けたカナダへの感謝と関上の復興の姿を特産で伝えようと北限のしらすが入ったかまぼこが開発されました。



(令和3年3月11日)名取市文化会館にて「東日本大震災名取市追悼式」が行われました。震災から10年となる追悼式には市内外から約450人の遺族の方々が参列されました。



(令和3年3月14日)那智が丘公民館が全国最優秀館を受賞しました。これは、同公民館が全国1万4千館、年間延べ2億人以上が利用する公民館の「頂点」に立ったものです。それに伴い地域主催でお祝い会が開催され、当日は金メダルにちなんで金木犀を植樹しました。



(令和3年3月29日)閑上かわまちづくり事業が「都市・地域再生等利用区域」に指定されました。この事業は、令和元年度より2か年の社会実験として試験的に営業行為の結果をもとに国へ区域指定の要望を行い、令和3年3月18日付で指定を受けました。河川空間を活かした賑わい拠点の創出により、さらなる閑上地区の観光振興そして地域活性化が図られます。



(令和3年3月30日) 閉上魚市場 荷さばき施設譲与契約締結式が行われました。復興期間の終了に伴い、現在の閉上魚市場改修、常設施設として正式に宮城県漁業協同組合に譲与することといたしました。今後はなりわいの礎となり地域の活性化が期待されます。



(令和3年3月30日) 仙台せり新規生産者指導研修事業に関する協定締結式が行われました。上余田、下余田の両芹出荷組合と新規生産者指導研修事業に関する協定を締結しました。これは組合が推薦する指導者が新規生産を希望する方へ技術指導を行うものです。約400年の歴史がある仙台せりを次世代に残すための手段として期待されます。

